

トムソンロイターのWeb of Science における米国から見た国際共著相手国上位

概要図表 4 米国における主要な国際共著相手国上位 10(2008-2010 年、%)

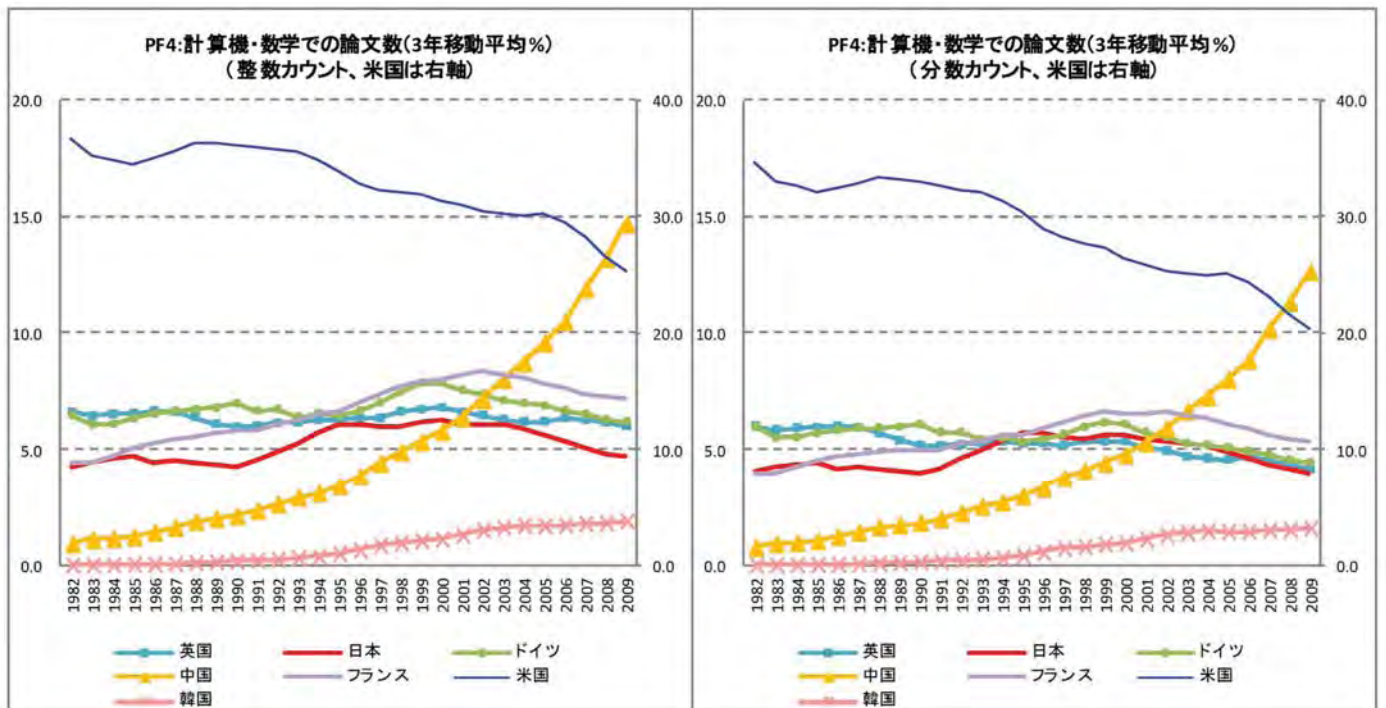
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
全分野	英国 13.3	中国 12.4	ドイツ 12.3	カナダ 11.8	フランス 8.1	日本 7.1	イタリア 7.0	オーストラリア 5.3	韓国 5.1	スペイン 4.8
化学	中国 17.0	ドイツ 11.0	英国 8.7	日本 6.8	フランス 6.6	韓国 6.4	カナダ 5.8	イタリア 5.4	インド 4.9	スペイン 4.5
材料科学	中国 21.2	韓国 12.2	ドイツ 9.1	英国 7.8	日本 6.6	カナダ 6.0	フランス 4.9	インド 4.4	台湾 3.3	イタリア 3.3
物理学&宇宙科学	ドイツ 21.6	英国 18.1	フランス 14.9	中国 13.2	イタリア 10.7	日本 10.6	カナダ 10.2	スペイン 8.1	ロシア 7.5	韓国 6.4
計算機科学 &数学	中国 16.3	カナダ 9.9	英国 8.9	フランス 8.2	ドイツ 7.9	韓国 5.9	イスラエル 5.0	イタリア 4.9	スペイン 4.0	台湾 3.2
工学	中国 18.8	韓国 10.3	カナダ 9.3	英国 6.4	ドイツ 6.1	イタリア 5.5	フランス 5.2	日本 4.9	台湾 4.7	スペイン 3.5
環境/生態学&地球科学	英国 14.6	中国 14.3	カナダ 14.3	ドイツ 11.4	フランス 9.9	オーストラリア 7.4	日本 6.2	イタリア 5.0	スイス 4.7	スペイン 4.0
臨床医学&精神医学/心理学	カナダ 15.2	英国 14.4	ドイツ 12.5	イタリア 9.2	中国 8.4	フランス 6.9	日本 6.8	オランダ 6.4	オーストラリア 6.2	スイス 4.8
基礎生命科学	英国 13.2	カナダ 11.5	ドイツ 11.1	中国 11.0	日本 7.8	フランス 6.9	イタリア 5.7	オーストラリア 5.6	スペイン 4.4	韓国 4.2

(注1) 矢印始点●の位置は、1998-2000年の日本のランクである。矢印先端が2008-2010年の日本のランクである。シェアは、米国における国際共著論文に占める割合を指す。

(注2) 報告書には、論文生産上位20ヶ国における同様のデータが含まれている。また、1998-2000年のデータも含まれており、時系列変化をみる事が出来る。

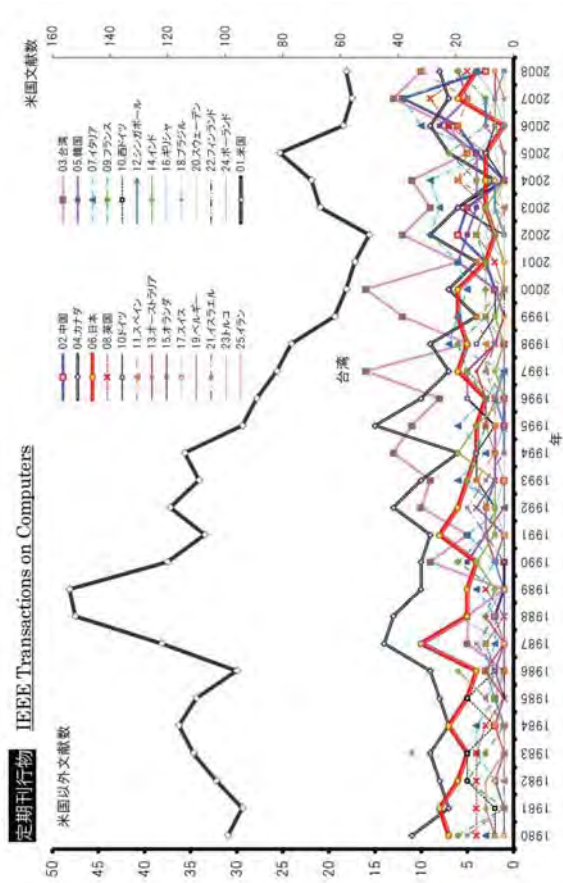
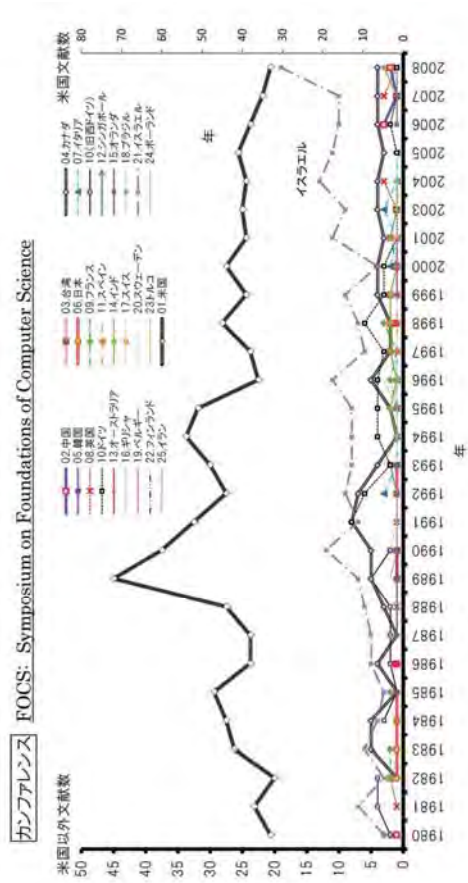
出展：文部科学省 科学技術政策研究所 調査資料-204「科学研究のベンチマーキング2011-論文分析で見る世界の研究活動の変化と日本の状況-」2011年12月

トムソンロイターのWeb of Science における“計算機科学・数学”分野の論文数



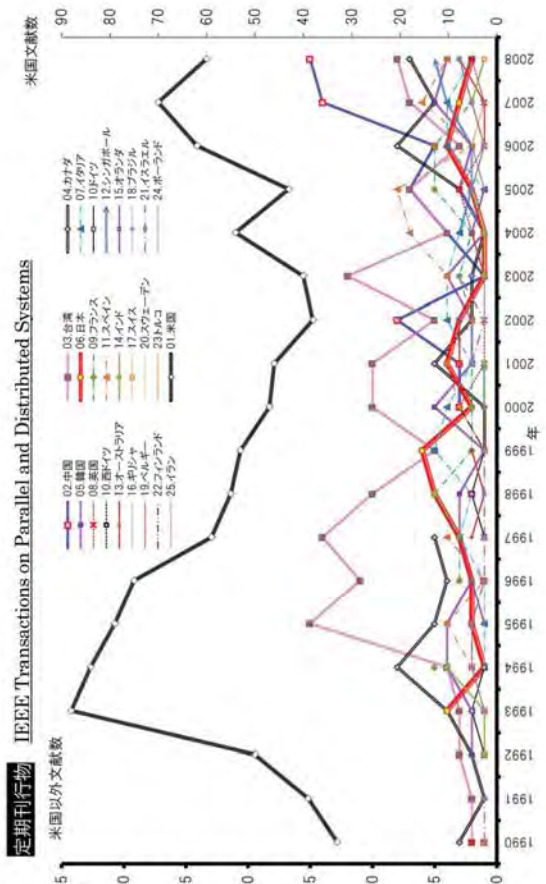
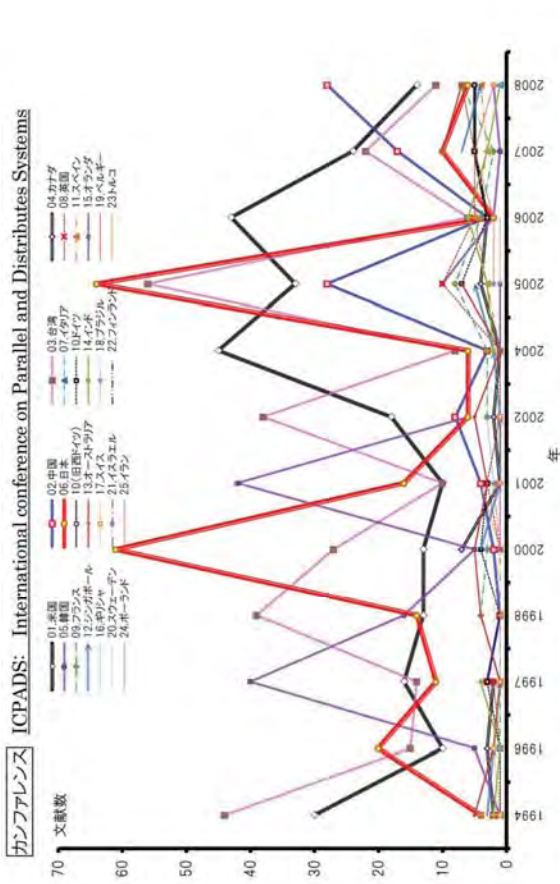
出展：文部科学省 科学技術政策研究所 調査資料-204「科学研究のベンチマーキング2011-論文分析で見る世界の研究活動の変化と日本の状況-」2011年12月

IEEEの文献:コンピュータの基礎・原理及び総論の研究領域



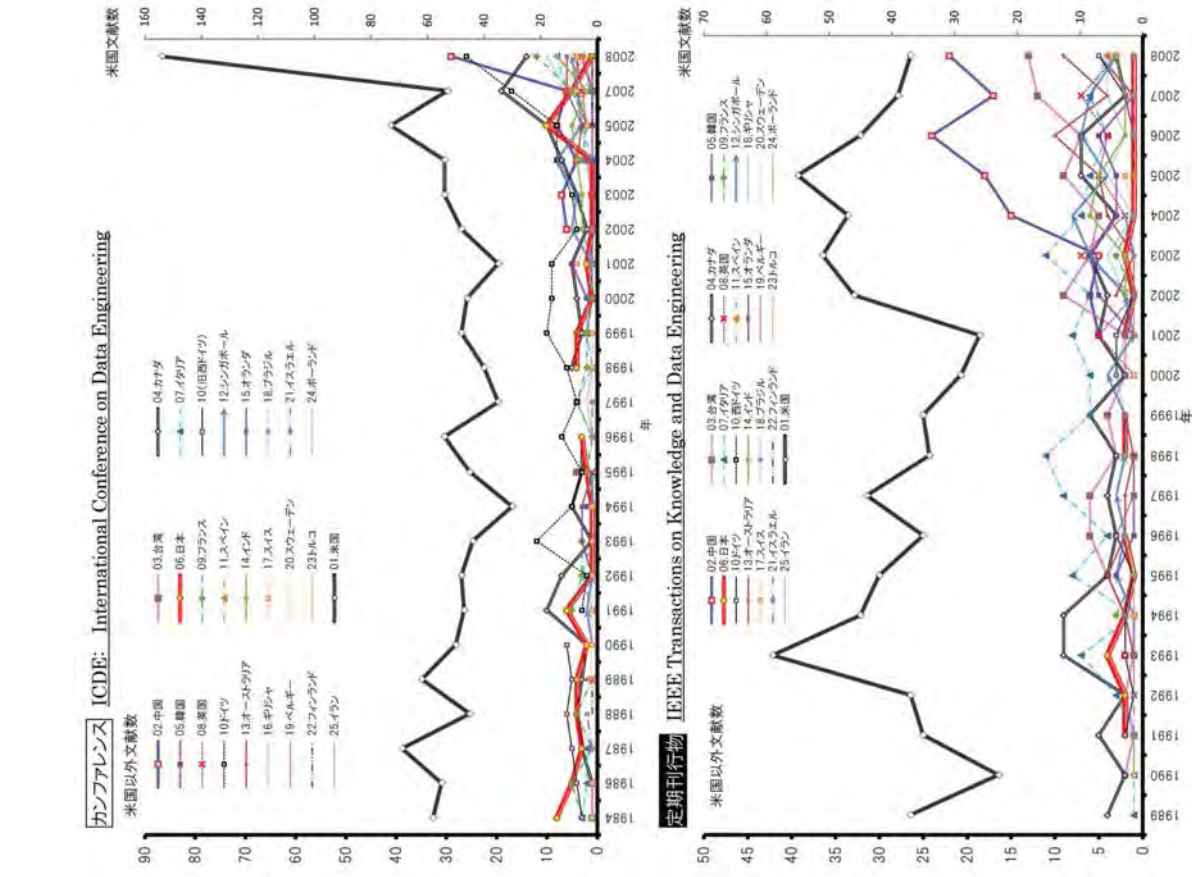
出展:文部科学省 科学技術政策研究所 調査資料-194「IEEEのカンファレンスと刊行物に関する総合的分析-成長・激変する世界の電気電子・情報通信研究と日本-」2011年6月

IEEEの文献:分散処理の研究領域



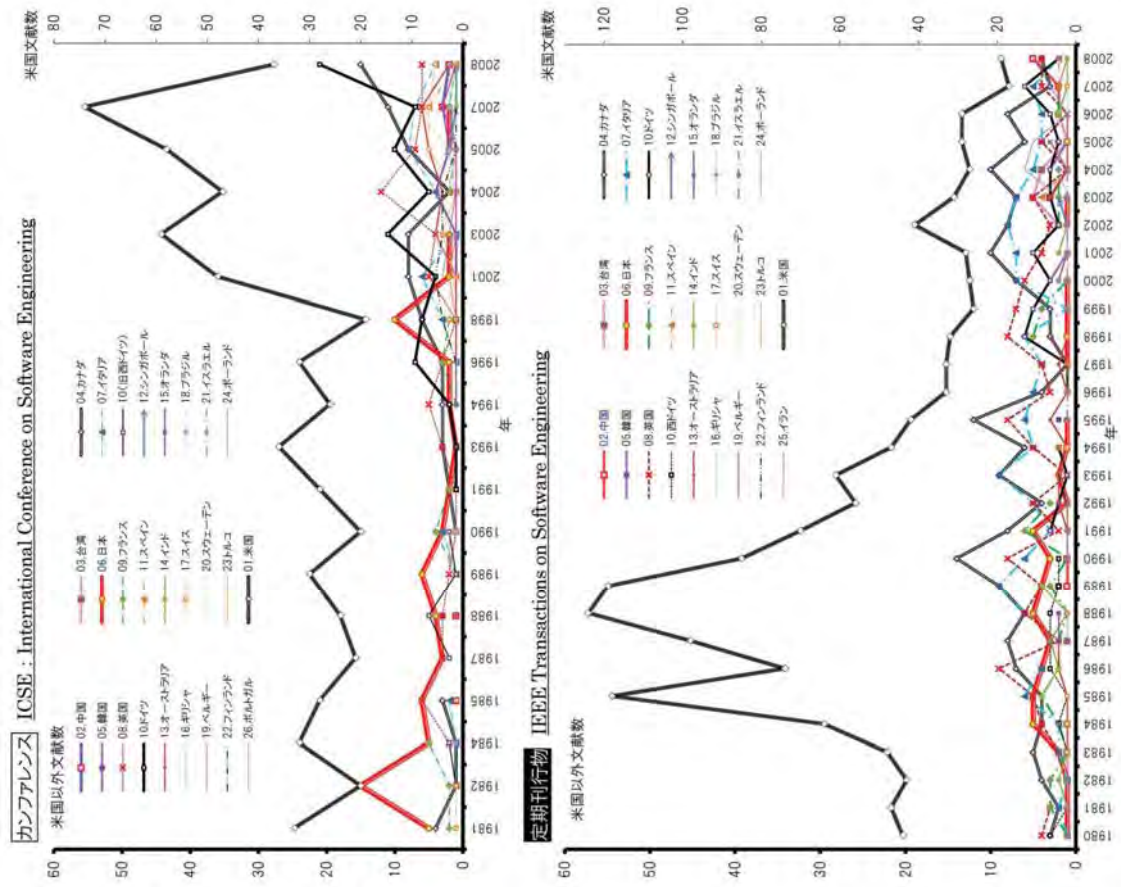
出展:文部科学省 科学技術政策研究所 調査資料-194「IEEEのカンファレンスと刊行物に関する総合的分析-成長・激変する世界の電気電子・情報通信研究と日本-」2011年6月

IEEEの文献：データエンジニアリングの研究領域



出展：文部科学省 科学技術政策研究所 調査資料-194「IEEEのカンファレンスと刊行物に関する総合的分析-成長・激変する世界の電気電子・情報通信研究と日本-」2011年6月

IEEEの文献：ソフトウェアエンジニアリングの研究領域



出展：文部科学省 科学技術政策研究所 調査資料-194「IEEEのカンファレンスと刊行物に関する総合的分析-成長・激変する世界の電気電子・情報通信研究と日本-」2011年6月